

通いの場の活動再開の留意点

東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム制作

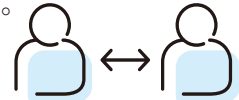
通いの場の再開**時**における感染症対策をふまえた**5つ**のポイント

①参加に際してのルールの設定

- ・発熱(37.5℃以上もしくは、平熱より1℃以上高い)、風邪症状がある場合は自宅療養しましょう。
※体温測定は、毎朝、できるだけ同じ時間帯に行いましょう。
- ・マスクもしくはそれに類する布により咳エチケットの対応を行いましょう(特に会話時や歌唱時には要注意)。
- ・手洗い、うがい等の基本的感染症予防対策を徹底しましょう。

②ソーシャルディスタンスの確保

- ・大人が両手を広げてお互い手を握れる距離が取れる人数は何名くらいかを確認しましょう。
※人数が多い場合には、時間を分けて複数回に分けて実施するのも一案です。



③重点消毒の箇所の設定と消毒の実施

- ・複数人が触れる場所を検討し、消毒液等で適宜消毒しましょう。
※重点箇所：ドアノブ、テーブル、椅子、トイレの洗浄レバーハンドル等



④換気方法の確認とルールの設定

- ・毎時2回以上、数分間の換気を行う(回数は目安)。
- ・換気の悪い場所は極力使わない。
※換気が難しい場合には、扇風機等を使用しできる限り換気に努めましょう。

⑤運動時のこまめな水分補給(熱中症対策)の実施

- ・マスクを着用して運動を行う場合、特に暑くなる時期は、こまめな水分補給を実施しましょう。

通いの場の再開**前**に、感染症対策とあわせて考えたい**8つ**のポイント

- ①通いの場の目的を確認する(見直す)。
- ②通いの場の開催方法を確認する(見直す)。
- ③スタッフ同士のコミュニケーションを強化する。
- ④通いの場に来てた人達の足を遠ざけない。
- ⑤新しい参加者や協力者を得るチャンスに変える。
- ⑥他の通いの場と連携するチャンスに変える。
- ⑦地域の理解を得ながら再開する。
- ⑧自治体等の専門機関・専門職と連携する。

